

○令和2年度 札幌市の予算(歳出)

一般会計	10,295 億円	(対前年度比0.7%増)
障がい福祉関係予算	940 億円	(対前年度比6.6%増)
障害福祉サービスや障害児通所支援の利用増等による予算増		

○令和2年度予算 主要事業【障がい福祉関係】

1 福祉のまちづくり推進費	9,900 千円
(前年度)	6,400 千円
2 医療的ケア児等支援推進費	4,100 千円
(前年度)	1,000 千円
3 介護給付費	30,118,148 千円
(前年度)	28,323,429 千円
4 意思疎通支援	92,000 千円
(前年度)	90,803 千円

1 福祉のまちづくり推進費【レベルアップ】

障がいのある方等の社会参加を推進するため、だれもが快適に暮らせる福祉のまちづくりを進めるとともに、心のバリアフリーの普及啓発を行う。

令和2年度は、企業や一般市民への更なる浸透を図るため、心のバリアフリーの普及啓発を担う普及員・推進員を養成する研修を実施予定。

2 医療的ケア児等支援推進費【レベルアップ】

医療的ケアを必要とする障がい児等の受入れを拡げるため、内容をより充実させた支援者養成研修を実施。

また、令和2年10月から、専門医による関係機関支援を目的とした「サポート医師」を配置予定。

3 介護給付費【レベルアップ】

障がいのある方が自立した地域生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づいて提供する障害福祉サービスに係る給付費。
なお、重度訪問介護の介護時間数の決定において、個々の利用者の状況に応じて必要な介護時間を決定する「非定型」による支給決定について、令和2年4月からの試行実施を踏まえ、令和2年10月から導入を予定している。(86,156千円)

4 意思疎通支援【レベルアップ】

ろうあ者や中途失聴者等の意思疎通等を支援するため、意思疎通支援者の派遣・養成を実施。
また、令和2年度から新たに、失語症者向け意思疎通支援者及び指導者の養成を行う。

○障がい者手帳所持者数の推移

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	札幌市人口比
身体	84,221人	84,049人	83,564人	83,585人	83,534人	4.3%
	-0.2%	-0.2%	-0.6%	0.0%	-0.1%	
療育	15,910人	16,666人	17,375人	18,041人	18,722人	1.0%
	4.8%	4.8%	4.3%	3.8%	3.8%	
精神	22,884人	23,715人	24,788人	26,026人	27,338人	1.4%
	6.8%	3.6%	4.5%	5.0%	5.0%	

↓
6.7%

・令和元年度版障害者白書によると、国民の約7.6%は何らかの障がいを有している。

・札幌市の人口に占める障がい者の割合を合計すると約6.7%であり、全国平均を若干下回っている。(年度によって違いはある)